

平成 29 年度第 2 回協議会の概要

○ 開催日時 平成 29 年 8 月 7 日 (月) 13:30～15:30

○ 会場 札幌市役所本庁舎 18階 第1常任委員会会議室

○ 委 員	札幌市	吉川委員	江差町	白鳥委員
	江別市	狩野委員	旭川市	山本委員
	三笠市	大村委員	遠軽町	深澤委員
	秩父別町	宮武委員	音更町	青砥委員
	登別市	宍戸委員	広域連合	金指委員
	函館市	横田委員		

○ オブザーバー

北海道国民健康 保険団体連合会	河村課長
--------------------	------

○ 事務局 長谷川保健事業担当係長、半澤、木村、佐々木、武藤

○ 会議概要

1 開 会

2 議事 (要旨)

「平成 28 年度個別保健事業の評価について」

事務局から説明を行い、意見交換等を行った。

(1) 後期高齢者健康診査事業、いきいき健康増進事業

- ・ 検査項目の拡大について。
- ・ 疾病等の治療で病院を受診している方の健診受診について。
- ・ 医療機関など、関係機関・団体等への働きかけについて。

(2) 歯科健康診査事業

- ・ 事業実施に当たって、手順表、ガイドラインのようなものがあるとよい。健診項目なども含め、歯科医師会などと連携を図ることが必要。

- ・ 健診だけでなく、口腔ケアや日常の手入れ方法などもあわせて助言指導することが必要。歯科指導や歯科相談をしたときの評価指標についてもあるとよいのではないか。
- (3) 健康講話・出前講座（健康増進啓発支援事業）
- ・ 質疑等なし。
- (4) 医療費通知事業
- ・ 医療費通知（裏面）に掲載する事業情報等の内容について。
- (5) 重複・頻回受診者訪問事業
- ・ 事業を受託するにはハードルが高いと感じる市町村もあるのではないか。やってよかったとか、効果があったというPRをすれば、さらによくなるのではないか。
 - ・ 国保における取組について情報提供があった。
- (6) 糖尿病性腎症重症化予防事業
- ・ 病院で受診している方のデータがなかなか手に入らない。対象者の抽出方法が難しく、医師から依頼を受けてやる形しかできない。
 - ・ 健診を受けてくれれば、検査データから抽出する方法もとれる。
 - ・ 後期高齢者だからといって効果がないということはなく、かかると効果がある事業だが、今の段階だと医療機関からはなかなか上がってこない。医師の協力ができないことなので、医師との連携も課題。医師会などから働きかけをしてもらうことも非常に重要ではないか。
 - ・ 様々な事業の展開に当たって、マンパワーが不足している。保健師の派遣事業など、できれば今後検討いただきたい。
- (7) アドバイザーから
- ・ 保健事業の支援評価委員会では、データヘルス計画を策定するに当たってどのように支援していけばいいのかということが課題のひとつ。
 - ・ 国保連合会では、国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の中で、市町村がデータヘルス計画を策定するに当たって、どのように策定していけばいいのかということを保健事業支援・評価委員会で支援している。
 - ・ 事業実施に当たっては、結果がでなくてもデータ等の活用やターゲットの絞り込みを行うなど、いろいろと知恵を絞って実施していただければと思う。

3 閉 会